

学年：

名前：

未来社会とエネルギー利用

ねらい：自分の生き方、社会のあり方、未来のエネルギーの使い方について考える。

どちらの方がよいですか？ ○をつけてください。選択した理由を書いてください。
「 」の言葉は、山梨在住のある中学生の回答例です。

Q1 自分の生き方

技術志向



「便利なものがあるって生活しやすい」
 「技術が発展した方が暮らしやすい」
 「技術向上により自然も取り返せる」

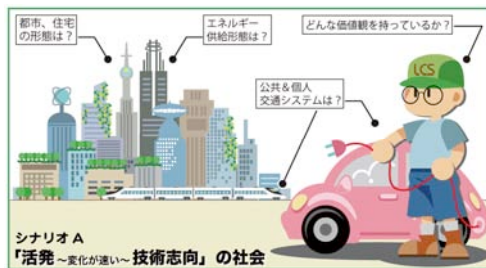
自然志向



「自然の中では思いやりの心が育つ」
 「自然がたくさんあると豊かに感じる」
 「地域の伝統行事を終わらせたくない」
 [出典] 環境会議秋号(2007)

選択した理由：

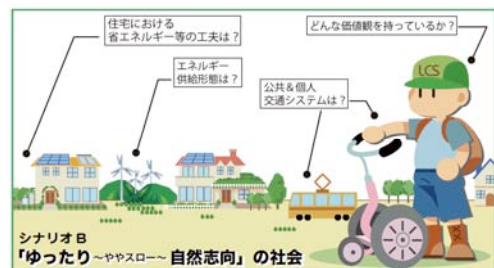
Q2 社会のあり方(将来、住みたいところ) 都心集中(都会がいい)



「交通など便利な方がよいから」
 「車を使わず歩いていけるので環境によい」
 「将来は東京のような都会に住みたいから」





選択した理由：

地方分散(田舎がいい)



「田舎でゆったりと過ごしたいから」
 「都会はたまに行くから楽しいところ」
 「店が遠くても自転車ならば運動になる」
 [出典] 脱温暖化2050研究プロジェクト(2009)

表 主な発電方法の長所と短所

	長所	短所	日本の導入量と目標値
火力発電 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設費が安い ・大量の発電が可能 ・発電量を調整しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料のほとんどが輸入 ・石油は枯渇の心配 ・二酸化炭素が発生する 	2007年：1億4,200万kW 2030年：1億2,967万kW
原子力発電 	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない燃料で大量の発電 ・燃料の再利用の可能性 ・二酸化炭素が発生しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・放射性廃棄物が発生する ・厳重な安全対策が必要 	2007年：4,947万kW 2030年：6,806万kW
太陽光発電 	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料費がかからず無限 ・設備の維持が簡単 ・二酸化炭素が発生しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・天候の影響を受ける ・夜は発電ができない ・大量の発電には広大な土地 	2008年： 214万kW 2030年：5,300万kW
燃料電池 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電効率が高い ・発電時の排熱も有効利用 ・非常時の電源として期待 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電費用が高い ・耐久性の課題 	

[出典] 資源エネルギー庁；エネルギー基本計画(2010.6)など

Q3 発電方法の長所と短所も参考にして、未来のエネルギー利用はどうかによいですか？

Q4 ソーラー王国やまなしの実現のために、これから私たちができることは何ですか？

Q5 今回の授業について、わかったこと、もっと知りたいことを書いてみよう。